



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター

コード番号 2410 URL <http://cdc.type.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 西山裕

TEL 03-3560-1601

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,967	—	427	—	429	—	391	—
25年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 391百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	57.34	57.33
25年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年9月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,937	—	1,850	—	—	60.1
25年9月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,765百万円 25年9月期 1百万円

(注) 平成26年9月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年9月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期及び期末を配当基準日と定めておりますが、現時点の期末の配当予想は未定とさせて頂いております。

平成25年9月期期末配当の内訳 普通配当1,600円00銭 創立20周年記念配当900円00銭 東証1部指定記念配当500円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,927	—	610	—	602	—	532	—	77.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）
 （注）詳細は、添付資料4ページ「2. (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期2Q	7,054,400 株	25年9月期	7,054,400 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	220,200 株	25年9月期	220,200 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期2Q	6,834,200 株	25年9月期2Q	6,834,200 株

（注）当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当社は、平成26年9月期第1四半期累計期間より連結決算へ移行しております。
- 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当期の配当予想値は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。
- 当社は、平成25年11月19日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成26年4月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う連結業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年3月31日）における我が国経済は、世界経済の影響により依然として先行き不透明な状況が続いているものの、各種政策の効果を背景に企業収益の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しております。雇用情勢においては、企業の採用意欲が活発で、平成26年3月の有効求人倍率は1.07倍と回復傾向を示しております。

このような状況において、当社は、引き続き強みである「エンジニア」マーケットが牽引し、キャリア情報事業を中心に売上が計画を上回る推移を示しております。支出面においては、適職フェアの開催数増加及び3月に実施した増床等により増加しておりますが、全社的にコストを抑制いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,967,013千円、損益面におきましては、経常利益は429,343千円、四半期純利益は391,891千円となりました。

なお、ご参考として、前第2四半期累計期間における売上高は、2,423,558千円、損益面におきましては、経常利益は259,760千円、四半期純利益は211,033千円となっております。

<事業の種類別の業績>

当社グループは人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

①キャリア情報事業

キャリア情報事業は、Web求人広告・適職フェア・情報誌等の商品・サービスを運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、求人広告の掲載と応募フォローを組み合わせた高単価商品の拡販が進み、中途採用マーケットにおいて、引き続き売上高が増加しております。マーケット別では、「エンジニア」及び「女性」マーケットが売上高を牽引しており、その中でも「女性」マーケットは顕著な伸びを示しております。また、適職フェアの開催数を増加しており、第2四半期においては、約5年ぶりとなる営業職向けの適職フェアを開催するなど、「営業」マーケットへも引き続き注力しております。

商品面におきましては、新規会員獲得を目的としたキャンペーンの実施や機能強化等、商品力の強化を図っており、『@type』は月間ユニークユーザー数100万人超と、国内最大級の訪問者数を誇る転職サイトとなっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるキャリア情報事業の売上高は、1,749,846千円となりました。

②人材紹介事業

人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介する登録型人材紹介を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「エンジニア」マーケットでの成約件数が堅調に推移し、売上高が増加いたしました。また、「営業」マーケットへ注力しており、営業職の成約件数は増加傾向となっております。さらに、自社メディア『@type』『女の転職@type』と人材紹介サービスを組み合わせる提案を継続して展開し、大手企業との継続取引を確保しております。一方、登録者の獲得においては、市場において徐々に人材の獲得が難しくなっておりますが、知人紹介キャンペーン等の施策や広告宣伝によって強化しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における人材紹介事業の売上高は、562,897千円となりました。

③IT派遣事業

IT派遣事業は、ご登録頂いた登録者の方の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、強みとする「エンジニア」マーケットを中心に派遣スタッフの稼働人数が増加し、売上高が増加いたしました。また、引き続き既存事業との連携を行いながら、新規案件獲得及び登録者獲得が堅調に推移しております。

なお、IT派遣事業は、平成26年1月1日から株式会社キャリアデザインITパートナーズ（当社100%子会社）での運営となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるIT派遣事業の売上高は、654,269千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,937,746千円となりました。

流動資産は2,228,766千円となりました。主な内訳につきましては、現金及び預金が1,588,877千円、受取手形及び売掛金が586,990千円であります。

固定資産は708,979千円となりました。主な内訳につきましては、無形固定資産が378,850千円、有形固定資産が181,119千円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,087,524千円となりました。主な内訳につきましては、流動負債における未払金が283,699千円、固定負債における長期借入金が171,600千円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,850,222千円となりました。主な内訳につきましては、資本金が558,663千円、資本剰余金が339,295千円、利益剰余金が963,208千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,488,877千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、463,773千円でありました。これは、税金等調整前四半期純利益を428,034千円計上し、減価償却費が42,513千円、売上債権の減少が26,075千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、214,352千円でありました。これは、無形固定資産の取得による支出が183,273千円、敷金及び保証金の差入による支出が28,752千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、205,116千円でありました。これは、長期借入金の返済による支出が30,400千円、配当金の支払額が203,675千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期におきましては、有効求人倍率が6年9ヶ月ぶりの高水準まで回復するなど、雇用情勢が改善傾向を示しております。一方で、求人数が求職者数を上回ったことで、求人企業における採用活動の難易度が上昇傾向になっております。これに対して、当社は、各事業における応募者及び登録者の獲得が、今後の業績確保のために重要であると認識しており、中長期的に継続して成長していくためには、より一層人材獲得を強化していく必要があると考えております。

そこで、下半期において、当社主力商品の『@type』に関するインターネット広告を中心に、人材獲得施策を強化するための先行投資を検討しております。なお、当該投資については、今後の応募者及び登録者の獲得状況、業績の進捗等を勘案して実施していきたいと考えておりますが、上半期において当初計画を上回ることとなった経常利益の約1.7億円を投資上限として、検討して参ります。

そのため、現時点において、上半期業績は計画を上回る実績を実現し、足元においても継続して好調に推移をしておりますが、通期業績見通しについては検討段階であることから、現在の業績予想を据え置くこととさせていただきます。今後、業績予想の修正が見込まれた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、株式会社キャリアデザインITパートナーズを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成26年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,588,877
受取手形及び売掛金	586,990
その他	54,663
貸倒引当金	△1,764
流動資産合計	2,228,766
固定資産	
有形固定資産	181,119
無形固定資産	
ソフトウェア	157,878
その他	220,971
無形固定資産合計	378,850
投資その他の資産	149,009
固定資産合計	708,979
資産合計	2,937,746
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	16,107
短期借入金	60,000
1年内返済予定の長期借入金	60,800
未払金	283,699
未払法人税等	43,375
賞与引当金	67,786
株主優待引当金	1,500
その他	319,815
流動負債合計	853,085
固定負債	
長期借入金	171,600
退職給付引当金	59,194
その他	3,644
固定負債合計	234,439
負債合計	1,087,524
純資産の部	
株主資本	
資本金	558,663
資本剰余金	339,295
利益剰余金	963,208
自己株式	△95,598
株主資本合計	1,765,568
新株予約権	84,653
純資産合計	1,850,222
負債純資産合計	2,937,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	2,967,013
売上原価	943,834
売上総利益	2,023,179
販売費及び一般管理費	1,595,195
営業利益	427,984
営業外収益	
受取利息	146
解約手数料	3,171
その他	324
営業外収益合計	3,642
営業外費用	
支払利息	2,280
その他	2
営業外費用合計	2,282
経常利益	429,343
特別損失	
固定資産除却損	1,309
特別損失合計	1,309
税金等調整前四半期純利益	428,034
法人税、住民税及び事業税	36,143
法人税等合計	36,143
少数株主損益調整前四半期純利益	391,891
四半期純利益	391,891

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391,891
四半期包括利益	391,891
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	391,891

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成25年10月1日
 至 平成26年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	428,034
減価償却費	42,513
株式報酬費用	21,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,659
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,199
受取利息	△146
支払利息	2,280
固定資産除却損	1,309
売上債権の増減額(△は増加)	26,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,540
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,964
未払金の増減額(△は減少)	△1,791
前払費用の増減額(△は増加)	1,735
その他	△3,803
小計	519,606
利息の受取額	137
利息の支払額	△2,653
法人税等の支払額	△53,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	463,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△635
無形固定資産の取得による支出	△183,273
敷金及び保証金の差入による支出	△28,752
その他	△1,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000
長期借入金の返済による支出	△30,400
配当金の支払額	△203,675
その他	△1,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,304
現金及び現金同等物の期首残高	1,444,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,488,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式の分割及び単元株制度の採用)

当社は、平成25年11月19日開催の取締役会決議に基づき、平成26年4月1日付で、株式の分割及び単元株制度の採用を実施いたしました。

1. 株式の分割及び単元株制度の採用の目的

平成19年11月27日付にて全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、株式を分割するとともに単元株制度の採用を行いました。なお、本株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成26年3月31日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加した株式数

①株式分割前の発行済株式総数	70,544株
②今回の分割により増加した株式数	6,983,856株
③株式分割後の発行済株式総数	7,054,400株
④株式分割後の発行可能株式総数	20,640,000株

(3) 分割の日程

①基準日公告日	平成26年3月14日(金)
②基準日	平成26年3月31日(月)
③効力発生日	平成26年4月1日(火)

(4) ストック・オプション行使価額の調整

上記株式の分割に伴い、ストック・オプション(新株予約権)の1株当たりの行使価額を平成26年4月1日(火)以降、以下のとおり調整いたしました。

	調整前行使価額	調整後行使価額
平成24年4月17日開催の取締役会決議に基づく新株予約権	101,100円	1,011円

3. 単元株制度の採用

(1) 新設した単元株式の数

上記「2. 株式分割の概要」の効力発生日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成26年4月1日(火)

4. その他

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	57円34銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	57円33銭